

日本共産党 市議会報告

明るい米子

2011年7月
日本共産党米子市議会議員団／発行
米子市加茂町1-1 電話23-5517(直通)



島根原子力発電所1号機(右)と2号機。
建設中の3号機は左山影に隠れて見えない

危険な原発 の撤廃を

福島原発事故で、原発は未完成な技術で、一度事故が起きると人間には制御が出来ない危険が明らかになりました。

島根原発の廃止を

日本共産党の石橋よしえ議員は島根原発の廃止を主張。37年経って老朽化した島根原発1号機は直ちに廃炉に向かうべきではないか。安全協定や避難計画は、必要で大事だが、それより事が起こる前に原因を取り除くことが肝心ではないか。そして国に対しても原発ゼロへ政策転換を求めるべきと質問しましたが、野坂市長の答弁は、国による福島原発事故の原因の徹底究明など国の施策を待つ

態度に終始しました。

「安全神話」に固執

原発は安全だと今も考えているか、という問いに「常に安全だとは思わないが、福島事故の徹底究明と万全の安全対策がされるものと考えます」と市長。

中電は原発での供給電力3%(2010年度)で、今すぐ停止しても支障がありません。島根原発こそ真っ先に廃炉にと、国と中電に求めるべきという問いにも、市長は国の施策を待ち、「安全神話」に固執する態度は変わりませんでした。

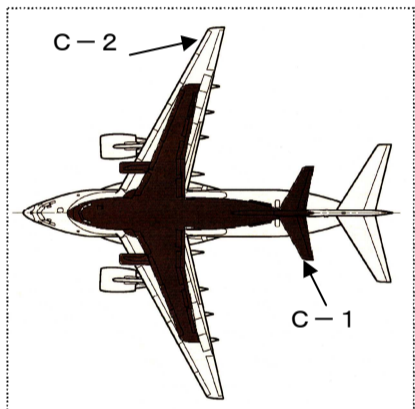
これまでの原発優先のエネルギー政策を止め、自然エネルギー

C-2配備計画

美保基地の軍事力強化は許さない

防衛省は美保基地に十機配備しているC-1が三十年を経過し老朽化したとして、後継機C-2に置き換える計画です。今年度2機の調達費として374億円計上しています。

C-2はC-1に比べ、機体も大型化し(図参照)、航続距離、搭載量は4倍化するなど格段に性能が向上します。自衛隊は米軍との一体化が進められており、国際貢献を名目に米国が引き起こす戦



地元住民説明会資料から

争に組み込まれる危険性があります。

また、美保基地は米軍使用可能

やったね！ 市民の運動実る

中学校給食実施を市長が言明

6月議会冒頭、野坂市長は市民の永年の懸案だった中学校給食について、2015年4月までに実施する、と表明しました。

二十年來の市民の運動、1994年に検討委員会報告が出されて以来、「提言どおりの直営・自校方式による完全給食を早期に」との共産党市議団の粘り強い追及が実ったものです。

今後、米子市は内部に検討会を立ち上げ、調理方式など実施に向けた作業をすすめる予定です。子どもたちにとってより良い給食が提供されるよう、教育の一環としての給食となるよう、運動を進めていきたいと思います。



の開発推進に切り替えれば、電力の供給は十分出来ます。安全なエネルギーへと切り替える時です。

基地となっています。米軍は朝鮮半島有事を想定し、調査活動をしています。半島有事の際の拠点として同基地が戦争に巻き込まれる恐れもあります。そんな状況のもと、全市民的説明会も開こうとせず、市長が配備への「同意回答」をすることは許されません。

民航の安全は「二次」

地元での説明会が崎津、和田、大篠津などの公民館で開かれましたが、騒音のデータもなく「話にならない！」と住民から怒りの声が上がりました。また、民間旅客機の安全が心配という声に、防衛

省の担当者は「美保基地は自衛隊のものであり、民間機はその余裕の部分で飛んでいたという」と言い、同席した野坂市長も同様の考えを示しました。「そののけ、そののけ、自衛隊機が飛ぶぞ！」と言わんばかりで、民航の安全を二次とした姿勢に驚きの声がかげられました。

周辺住民の平穏な生活を踏みにじり、民間旅客機の安全な運航に障害となり、美保基地のさらなる軍事力強化につながるC-2配備は許さない！ この声を上げていきたいと思います。

陳情に対する議員の態度

- ①「中学校で使用する新しい教科書の採択に関する陳情」=本質は隠していますが、歴史の真実を歪める「新しい歴史教科書をつくる会」系の歴史・公民の教科書採択を狙ったもの。つくる会は全国的な運動を展開していますが、子どもたちにこのような教科書を使わせることはできません。市議団は反対しました。
- ②「最低賃金の引き上げと制度の抜本改正を求める意見書採択の陳情」=2011年版「子ども・子育て白書」でも、雇用の非正規・低所得化が少子化の大きな要因になっていると警告しています。最賃をせめて千円に、は当然の要求です。市議団は採択を主張しました。
- ③「米子市議会議場に国旗及び米子市旗を掲げる陳情」=日本国民310万人、アジアの人たち2000万人の尊い命を奪った侵略戦争の旗印になった日の丸。国民、近隣諸国民の間に嫌悪感が拭いきれておらず、いまなお議論が分かれています。多様な議論を保障する場である議場に日の丸を押しつけることは許されません。市議団は反対しました。

- ①「中学校で使用する新しい教科書の採択に関する陳情」=採択
- ②「最低賃金の引き上げと制度の抜本改正を求める意見書採択の陳情」=不採択
- ③「米子市議会議場に国旗及び米子市旗を掲げる陳情」=不採択

○賛成 ×反対		①	②	③
共産党	石橋 佳枝	×	○	×
	岡村 英治	×	○	×
	松本 松子	×	○	×
蒼生会	岩崎 康朗	○	×	○
	尾沢 三夫	○	×	○
	竹内 英二	○	×	○
	野坂 道明	○	×	○
	藤尾 信之	○	×	○
	松田 正	○	×	○
	湯浅 敏雄	○	×	○
	渡辺 穰爾	○	×	○
	渡辺 照夫	議長		
よなご会議	伊藤ひろえ	×	○	×
	稲田 清	×	×	×
	国頭 靖	×	×	×
	小林 重喜	×	×	○
	西川 章三	×	×	×
	松井 義夫	○	×	×
公明党	矢倉 強	○	×	×
	笠谷 悦子	○	×	×
	原 紀子	○	×	×
	安木 達哉	○	×	×
安田 篤	○	×	×	
一院ク	遠藤 通	○	×	×
市民派	中川 健作	×	○	×
仁	中田 利幸	○	×	×
ムスカリ	門脇 邦子	×	○	×
コモンズ	杉谷第士郎	○	○	○
虹	山川 智帆	○	×	○

国保料の引き上げ撤回を
 国保料の引き上げは、やっと払って来た人、払うに払えない世帯を窮地に追い込む。減免制度の拡充もなく徴収強化すれば市民はますます医療から遠ざけられると、国保料引き上げ・徴収強化に

生活保護はセーフティネット
 生活保護の申請から決定までの期間を、保護法に定められた14日以内とするのは至上命題ではないか。米子では14日以内に決定されるのはわずか4割。切羽詰まった申請者の生活を守るために

★この他の質問は、「原葬の危機から市民を守るために」(表面参照)

民営化園の保育の質を守れ
 米子市は多くの市民や、保育・教育に携わっておられる方々の不安や反対に答えられないまま、平成25年度から、1年に1園、3年計画で民営化することを決定しまし



石橋よしえ 議員

反対しました。市長は、国保財源確保のためにやむをえない、副市長が再び保険料を上げないために徴収強化すると答弁。

生活保護はセーフティネット

14日以内に決定する体制をつくれと質しました。福祉保健部長は、適正な保護のために必要な調査をすることも大前提と答弁。ほかに公共交通の不便なところでは、日常生活や就労などのための車の保持を認めること、保護費の引き上げ、老齢加算の復活も求めました。

米子市は多くの市民や、保育・教育に携わっておられる方々の不安や反対に答えられないまま、平成25年度から、1年に1園、3年計画で民営化することを決定しまし

6月議会

日本共産党議員の一般質問



岡村えいじ 議員

学校の耐震化を急げ

災害に強いまちづくりを取り上げた岡村議員は、子どもたちが一日の大半を過ごし、災害時には避難所ともなる学校施設の耐震化工事を急ぎ、期限を切って実施する

よう迫りました。教育長は米子市耐震化促進計画、国の地震防災緊急5カ年計画にあわせ、目標年度である二〇一五年度完了に向けて取り組んでいくと表明しました

就学援助の改善を

経済的な理由で就学が困難な児童や生徒の学習権を保障するのが就学援助の制度です。これを米子市は、二〇〇五年度から国からの

財源措置が補助から一般財源化されたのに伴い、学用品費など他市に比べて半分以下という水準に改善しました。せめて他市並みに戻せという質問に、教育長は「財政状況を考慮しながら、就学援助の充実に努めたい」と答弁。年度末になってようやく支給されている学用品費の支給時期の改善を求める質問には「保護者負担の軽減のため、時期・回数改善する」との答弁でした。



松本松子 議員

特別養護老人ホームの増設を求めて

入所を待っている方や家族が、どんな思いで待ち、どのように暮らしているのか、市長は直接聞いたことがあるのか。在宅での暮らしが困難で申し込まれている。なぜ、建設できないのか、と質しました。それに対して、市長は、平成24年から26年の第5期事業計画の中で、老人ホームの建設も策定委員会の意見を踏まえて検討すると答えました。松本議員は、待機者の家族からリアルな意見を聞く機会を策定委員会に設けて議論することを強く求めました。

だが、「保育の質」を保障しようとすれば、安心して働ける保育士の労働条件が大事です。移管先法人に対し、臨時保育士を正職員として雇うよう、市は、求めるべき、と指摘しました。

古い住宅の風呂釜・浴槽の整備を

築後40年近い市営住宅の募集であっても、入居の際、風呂釜・浴槽を自前で設置しなければなりません。「敷金に加えて、十数万円の負担はできない」と残念な声を聞きました。何とか出来ないか。市長は、今後の入居者から公費で設置すると答弁しました。市民の声で改善されます。

お気軽に 仕事をくらしの悩み 相談を

日本共産党生活相談所

電話・Fax 32-5590

米子市富士見町136

- 岡村えいじ Tel 29-3475
- ブログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/o/>
- 松本松子 Tel 56-2504
- ブログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/m/>
- 石橋よしえ Tel 28-7598
- ブログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/i/>